

上島町消防だより

上島町避難勧告等の判断基準

～津波による避難勧告について～

【避難勧告等についての発令区分】

(1) 避難準備情報

災害により人的被害の発生する恐れがあり、災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する人が、避難行動を開始する必要がある場合に情報を提供するもの。

(2) 避難勧告

災害により人的被害の発生する恐れがあり、災害の拡大を防止するため特に必要がある場合に、町民に対し避難のための立ち退きを勧め又は促すもの。

(3) 避難指示

避難すべき区域は、原則として津波警戒線より海岸側の区域とする。(上島町防災マップ参照)

津波災害による避難勧告

避難準備情報	①津波注意報が発表され、注意の喚起が必要なとき
避難勧告	①津波警報が発表されたとき ②津波注意報が発表され、被害が発生する恐れがあるとき
避難指示	①津波警報(大津波)が発表されたとき ②震度4以上程度の地震を感じたが、情報伝達系統の異常時により「津波注意報」「津波警報」が伝達されないとき

文化財防火デー

～みんなで守ろう上島町の文化財～

昭和24年1月26日に、世界

最古の木造建築物である法隆

寺の金堂が炎上し、世界的な

至宝と言われた金堂の壁十二

面に描かれた仏画の大半が焼

損しました。

このことをきっかけに、昭

和30年1月26日に、災害から

文化財を守るとともに、日本

国民の文化財愛護思想の高揚

を図ることを目的とし、文化

府と消防庁によって「文化財

防火デー」が制定されました。

私たちの住む上島町にも、

木造建築物として、弓削地区

の定光寺観音堂、岩城地区の

祥雲寺観音堂が『国指定重要

文化財』に指定されています。



上島町の重要な文化財を守るために、今一度、家庭や地域での防災について、考えてみましょう。

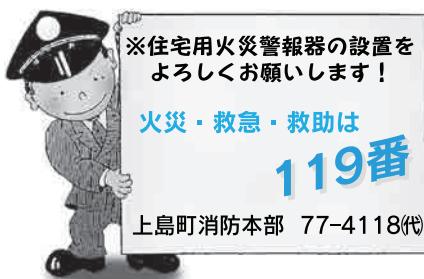
焚き火をする際は
火災と紛らわしい届出
を提出して下さい。



平成25年出動件数

摘要	火災	救急
平成25年(11月)	0	30
平成24年(11月)	0	36
昨年比	0	+6
平成25年累計	5	438

平成25年11月30日現在



防ごう！窒息事故 !!

この時期になると、雑煮など『餅』を食べる機会が多くなり、全国的に餅を喉に詰まらせる事故が増えています。

上島町管内でも、喉に餅を詰ませたため、救急要請となつた事例が過去にあります。

異物や食物が気道（空気の通り道）を塞いでしまうと呼吸ができなくなり、やがては呼吸が止まってしまいます。

窒息による事故は予防が重要です。

【予防のポイント】

餅は小さく切って食べる

☆☆☆ ゆっくり噛んで、口の中に入れたまま話をしたりしない

☆☆☆ 水分を摂りながら食べたり、汁物に入れたりして食べる

【お餅などが喉に詰まつたときの対処方法】

もしも、喉に餅が詰まつた場合、咳ができるようであれば、自力で吐き出せます。難しい場合は左記のことを実施してください。また、掃除機に隙間ノズルを装着（吸引専用ノズルも販売されています）して吸い出すという方法もあります。



はい ぶ こう だ ほう
背部叩打法



意識がある場合



意識がない場合
背中中央部（肩甲骨の間）を強く叩いて吐きださせます。